

音楽創造都市レイリア

について

音楽創造都市レイリア

レイリアで音楽を聴く！

いくつかの革新的なプロジェクトによって国内外での知名度が高まり、他の基準とともにユネスコ音楽創造都市に選ばれました。

Concerts for Babies (赤ちゃんのためのコンサート)、Aqui Contigo (アキ・コンティゴ)、Opera in Prison (刑務所内のオペラ)

などは、社会的平等、インクルージョン、人間の尊厳に貢献するレイリアで実施されているイニシアチブの一例であり、現在世界各地で再現されています。地域社会の音楽への参加と関与が強調され、多様なグループの参加とすべての人の音楽へのアクセスの促進に重点が置かれています。ゴス音楽フェスティバルExtramuralhas (エクストラムラハス) (例年8月に開催)、A Porta festiva (ア・ポルタ・フェスティバル) (2014年10月初開催)、Music in Leiria (ミュージック・イン・レイリア)

などの文化イベントは、さまざまな音楽スタイルを尊重し、祝うなど、音楽における文化的多様性に対するこの市の取り組みにおけるダイナミズムとコミュニティ全体の関与を反映しています。

Extramuralhas (エクストラムラハス)

(ポルトガル語で「城壁の外」)フェスティバルは、コンサートが城壁の中だけで行われることから、当初はEntremuralhas (エントレムラハス) (「城壁の間」)と呼ばれていました。しかし、記念碑の改修工事に伴い、同団体はイベントを市内の他の場所に移さざるを得なくなりました。その結果、出演できるバンドの数が増え、違いを受け入れ、大胆な美学を持つ場所として、この市の普及と国際的な知名度を拡大することができました。このフェスティバルは現在、レイリアの音楽シーンを象徴する最も注目すべきもののひとつです。

Music in

Leiria (ミュージック・イン・レイリア)

フェスティバルはクラシック音楽で始まりましたが、ジャズなどの他の音楽ジャンルやダンスなどの芸術表現にも及びます。

レイリアはまた、長い伝統を持つフィルハーモニー楽団(11のフィルハーモニー楽団があり、その中には何世紀もの歴史を持つ楽団もあります)、合唱団、民俗音楽のグループもあり、さらにロック、ポップス、ジャズのバンドや、その他のジャンルの音楽を演奏するバンドの発祥地でもあります。市は、あらゆる年齢層の人々に音楽スキルを学ぶ機会を提供し、地元の才能の学習と開発を促進しています。そして、音楽は文化的および創造的な産業の重要な部分であり、市の持続可能な経済発展に貢献しています。

芸術全般、とりわけ音楽に対するこの愛情は、おそらく吟遊詩人の王であったポルトガル王ディニス(1261-1325年)まで遡ることができます。歴史的な記述によれば、レイリア城は、ガリシア/ポルトガルの抒情詩に大きな足跡を残したCantigas de Amigo (カンティガス・デ・アミーゴ)「友情の歌」を王が作曲する舞台となりました。

レイリアは観光客にセレナーデを贈ります！